【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和5年7月20日(2023.7.20)

【国際公開番号】WO2021/030064
【公表番号】特表2022-543727(P2022-543727A)
【公表日】令和4年10月14日(2022.10.14)
【年通号数】公開公報(特許)2022-189
【出願番号】特願2021-570818(P2021-570818)
【国際特許分類】
A24F 40/42(2020.01)
【FI】
A24F 40/42

【手続補正書】
【提出日】令和5年7月11日(2023.7.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
非ニコチンｅベイピングセクションであって、
ハウジングと、ウィックと、ヒータと、リザーバと、を備え、
前記ウィックは、前記ハウジング内に規定されたチャンバー内にあり、
前記ヒータは、前記ウィックの近傍を加熱し、
前記リザーバは、非ニコチンプレベイパー製剤を収容するように構成され、
ここで、前記非ニコチンプレベイパー製剤は、ニコチンを含まず、かつ、少なくとも１つの非ニコチン化合物を含有するものであり、
前記非ニコチンｅベイピングセクションは、少なくとも１つの第１のチャネルを規定し、
前記少なくとも１つの第１のチャネルは、前記リザーバから前記ウィックに前記非ニコチンプレベイパー製剤を伝えるように構成されており、
前記非ニコチンｅベイピングセクションは、少なくとも１つの第１の通気路と、前記リザーバの第１の壁とをさらに規定し、
前記少なくとも１つの第１の通気路は、空気が前記リザーバに流入可能に構成され、
前記第１の壁は、前記少なくとも１つの第１のチャネルと、前記少なくとも１つの第１の通気路とを少なくとも部分的に規定する、もの。
【請求項２】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積は、前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積よりも大きい、もの。
【請求項３】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積が約０．７５mm^2から１．２５mm^2までであり、且つ、前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積が約０．１mm^2から０．２mm^2までである、もの。
【請求項４】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、

前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積と前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積との比は、約９：１と５：１との間である、もの。
【請求項５】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１の通気路のそれぞれの流路断面積は、約０．１２ｍｍ^{2}より小さい、もの。
【請求項６】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記ウィックが前記リザーバ内に延在せず、且つ、前記ウィックが前記少なくとも１つの第１のチャネル内に延在しない、もの。
【請求項７】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルは、２つ以上のチャネルを含む、もの。
【請求項８】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
少なくとも１つの第１の通気口が非ニコチンｅベイピングセクション内に規定されており、
前記少なくとも１つの第１の通気口は、気流が前記チャンバーに流入可能に構成されている、もの。
【請求項９】
請求項８に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１の通気口の排出端は、前記ヒータに直接向かい合うように配置されている、もの。
【請求項１０】
請求項８に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの第１の通気口は、前記気流が第１の方向に前記チャンバーに流入可能に構成されており、
前記チャンバーは、前記気流が少なくとも部分的に第２の方向に前記ヒータを横切って離れて流れるように構成されており、
前記第１の方向と前記第２の方向とは、互いにほぼ垂直である、もの。
【請求項１１】
請求項１０に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記ヒータは、少なくとも１つの第１の平坦な加熱面を備え、
前記第１の方向は、前記少なくとも１つの第１の平坦な加熱面に対してほぼ垂直である、もの。
【請求項１２】
請求項８に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
少なくとも１つの第１の空気入口は、前記ハウジングによって規定され、
前記少なくとも１つの第１の空気入口は、前記非ニコチンｅベイピングセクションが電力部に接続されて非ニコチンｅベイピングデバイスを形成する場合に、前記少なくとも１つの第１の通気口と流体連通している、もの。
【請求項１３】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記ウィックは、前記第１の壁の外面に接続されるとともに、前記少なくとも１つの第１のチャネルの排出端を覆い、
前記少なくとも１つの第１の通気路は、前記ウィックに隣接して配置される入口端を備える、もの。
【請求項１４】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記ウィックは、前記チャンバーの壁に接続され、

前記ヒータは、前記ウィックに重なり、且つ、直接接触し、
前記ヒータは、前記チャンバーの内部に面する少なくとも１つの第１の平坦な加熱面を備え、
前記少なくとも１つの第１の平坦な加熱面は、前記ウィックの表面領域を前記チャンバーの前記内部に露出させる開口部を備える、もの。
【請求項１５】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記ウィックは、薄いパッドである、もの。
【請求項１６】
請求項１に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記リザーバ内に、前記非ニコチンプレベイパー製剤をさらに備え、
前記非ニコチンプレベイパー製剤は、
非ニコチンベイパー形成剤と、
前記少なくとも１つの非ニコチン化合物と、
を含有する、もの。
【請求項１７】
請求項１６に記載の非ニコチンｅベイピングセクションにおいて、
前記少なくとも１つの非ニコチン化合物は、大麻、少なくとも１つの大麻由来の成分、又は大麻と前記少なくとも１つの大麻由来の成分との両方である、もの。
【請求項１８】
非ニコチンｅベイピングデバイスであって、
非ニコチンｅベイピングセクションを備え、
前記非ニコチンｅベイピングセクションは、
ハウジングと、ウィックと、ヒータと、リザーバと、電力部と、を備え、
前記ウィックは、前記ハウジング内に規定されたチャンバー内にあり、
前記ヒータは、前記ウィックの近傍を加熱し、
前記リザーバは、非ニコチンプレベイパー製剤を収容するように構成され、
ここで、前記非ニコチンプレベイパー製剤は、ニコチンを含まず、かつ、少なくとも１つの非ニコチン化合物を含有するものであり、
前記非ニコチンｅベイピングセクションは、少なくとも１つの第１のチャネルを規定し、
前記少なくとも１つの第１のチャネルは、前記リザーバから前記ウィックに前記非ニコチンプレベイパー製剤を伝えるように構成されており、
前記非ニコチンｅベイピングセクションは、少なくとも１つの第１の通気路を<u>と、前記リザーバの第１の壁と</u>さらに規定し、
前記少なくとも１つの第１の通気路は、空気が前記リザーバに流入可能に構成されており、
<u>前記第１の壁は、前記少なくとも１つの第１のチャネルと、前記少なくとも１つの第１の通気路とを少なくとも部分的に規定し、</u>
前記電力部は、前記非ニコチンｅベイピングセクションに接続するように構成されており、電力源と、制御回路と、を備え、
前記制御回路は、前記電力源から前記ヒータに選択的に電流を送るように構成されている、もの。
【請求項１９】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積は、前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積よりも大きい、もの。
【請求項２０】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積が約０．７５mm^2から１．２５

ｍｍ^{2}までであり、且つ、前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積が約０．１ｍｍ^{2}から０．２ｍｍ^{2}までである、もの。
【請求項２１】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルの総流路断面積と前記少なくとも１つの第１の通気路の総流路断面積との比は、約９：１と５：１との間である、もの。
【請求項２２】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１の通気路のそれぞれの流路断面積は、約０．１２ｍｍ^{2}より小さい、もの。
【請求項２３】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記ウィックが前記リザーバ内に延在せず、且つ、前記ウィックが前記少なくとも１つの第１のチャネル内に延在しない、もの。
【請求項２４】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１のチャネルは、２つ以上のチャネルを含む、もの。
【請求項２５】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
少なくとも１つの第１の通気口が前記非ニコチンｅベイピングセクション内に規定されており、
前記少なくとも１つの第１の通気口は、気流が前記チャンバーに流入可能に構成されており、
前記少なくとも１つの第１の通気口の排出端は、前記ヒータに直接向かい合うように配置されている、もの。
【請求項２６】
請求項２５に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの第１の通気口は、前記気流が第１の方向に前記チャンバーに流入可能に構成されており、
前記チャンバーは、前記気流が少なくとも部分的に第２の方向に前記ヒータを横切って離れて流れるように構成されており、
前記第１の方向と前記第２の方向とは、互いにほぼ垂直である、もの。
【請求項２７】
請求項２５に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
少なくとも１つの第１の空気入口が前記ハウジングによって規定され、
前記少なくとも１つの第１の空気入口は、前記非ニコチンｅベイピングセクションが前記電力部に接続されて前記非ニコチンｅベイピングデバイスを形成する場合に、前記少なくとも１つの第１の通気口と流体連通している、もの。
【請求項２８】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記ウィックは、前記第１の壁の外面に接続されるとともに、前記少なくとも１つの第１のチャネルの排出端を覆い、
前記少なくとも１つの第１の通気路は、前記ウィックに隣接して配置される入口端を備える、もの。
【請求項２９】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記ウィックは、前記チャンバーの壁に接続され、
前記ヒータは、前記ウィックに重なり、且つ、直接接触し、
前記ヒータは、前記チャンバーの内部に面する少なくとも１つの第１の平坦な加熱面を備え、

前記少なくとも１つの第１の平坦な加熱面は、前記ウィックの表面領域を前記チャンバーの前記内部に露出させる開口部を備える、もの。
【請求項３０】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記ウィックは、薄いパッドである、もの。
【請求項３１】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記非ニコチンｅベイピングセクションの第１の端部に設けられた第１の一対の電気接続部と、前記電力部の第２の端部に設けられた第２の一対の電気接続部と、をさらに備え、
前記第１の一対の電気接続部は、前記第２の一対の電気接続部と嵌合可能であり、前記電力部と前記ヒータとを電気的に接続する、もの。
【請求項３２】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記電力部に設けられた少なくとも１つの第１のセンサと、前記少なくとも１つの第１のセンサと前記電力源とに動作可能に接続される回路と、をさらに備え、
前記電力部は、前記チャンバーと流体連通しており、
前記少なくとも１つの第１のセンサは、圧力降下、気流方向、又は前記圧力降下と前記気流方向との両方、のうちの少なくとも１つを測定するように構成され、
前記回路は、前記少なくとも１つの第１のセンサがベイピング状態を検出した場合に、前記電力源に前記ヒータへ前記電流を送らせるように構成されている、もの。
【請求項３３】
請求項１８に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記リザーバ内に、前記非ニコチンプレベイパー製剤をさらに備え、
前記非ニコチンプレベイパー製剤は、
非ニコチンベイパー形成剤と、
前記少なくとも１つの非ニコチン化合物と、
を含有する、もの。
【請求項３４】
請求項３３に記載の非ニコチンｅベイピングデバイスにおいて、
前記少なくとも１つの非ニコチン化合物は、大麻、少なくとも１つの大麻由来の成分、又は大麻と前記少なくとも１つの大麻由来の成分との両方である、もの。